

## ★ 米 麦

東温地区や伊予地区には、それぞれカントリーエレベーターが整備され、米麦を中心とした効率的な水田農業が展開されています。

水稻品種は、「コシヒカリ」、「あきたこまち」、「ヒノヒカリ」といったコシヒカリ系統の良食味品種が80%を占めています。また、久万高原町では、冷涼な気候と清らかな流水で栽培された良食味米を「久万高原清流米」という独自のブランド名で生産・販売しています。

一方、愛媛県が日本一の産地となっているはだか麦は、松前町や東温市などの道後平野を中心に栽培されています。主な品種は「マンネンボシ」や「ハルヒメボシ」です。

伊予市、松前町には県内の米・はだか麦の種子を生産する採種圃場もあります。



傾穂期に入った水稻



収穫期を迎えた東温市のはだか麦

## ★ 花 き

県内最大の市場への近さを生かし、松山市や東温市などの平野部では、小規模ながら古くから、きく、ばら、カーネーション、ゆりなどの多様な品目の切花が生産されてきました。

近年は、生活スタイルの多様化を反映し、切花品種の多様化や生産の周年化が進んでいます。

また、枝物や鉢物、苗物の生産も拡大してきました。

主な品目は、切花ではゆり、きく、デルフィニウム、マーガレット、枝物ではしきみ、ユーカリ、スモークツリー、鉢物・苗物ではシクラメン、パンジーとなっています。



デルフィニウム（さくらひめ）

## ★ 畜 産

管内の畜産は、松山市を中心とした都市化が進む一方、四国カルスト姫鶴牧場に代表される山間部での土地利用型畜産も見られます。近年、輸入飼料価格の高騰や畜産農家は高齢化の傾向にあります。養豚や養鶏は規模拡大による企業経営化も進んでいます。一方、酪農や肉用牛は自給飼料の生産や自家配合飼料、エコフィード（食品残さ飼料）の利用によるコスト低減にも取り組んでいます。



放牧の様子（姫鶴牧場）



大規模採卵鶏舎